

令和6年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年10月30日

上場会社名 トラスコ中山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9830 URL <https://www.trusco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 哲也
 取締役 経営管理本部長 兼
 問合せ先責任者 (役職名) デジタル戦略本部長 兼 (氏名) 数見 篤 (TEL) 03-3433-9830
 オレンジブック本部長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第3四半期の連結業績(令和6年1月1日~令和6年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和6年12月期第3四半期	216,383	10.1	14,268	8.4	14,330	8.4	11,602	32.3
令和5年12月期第3四半期	196,583	8.7	13,162	44.1	13,215	40.6	8,768	35.5

(注) 包括利益 令和6年12月期第3四半期11,886百万円(27.0%) 令和5年12月期第3四半期9,356百万円(33.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
令和6年12月期第3四半期	円 銭 175.95	円 銭 —
令和5年12月期第3四半期	円 銭 132.98	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
令和6年12月期第3四半期	百万円 260,126	百万円 169,337	% 65.1
令和5年12月期	244,878	160,716	65.6

(参考) 自己資本 令和6年12月期第3四半期 169,337百万円 令和5年12月期 160,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
令和5年12月期	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 —	円 銭 23.50	円 銭 46.50
令和6年12月期	—	26.00	—	—	—
令和6年12月期(予想)	—	—	—	24.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日~令和6年12月31日)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	8.1	19,112	3.2	19,364	3.7	15,032	22.5	227.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

令和6年12月期3Q	66,008,744株	令和5年12月期	66,008,744株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

令和6年12月期3Q	67,875株	令和5年12月期	67,493株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

令和6年12月期3Q	65,941,004株	令和5年12月期3Q	65,942,180株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 令和6年12月期第3四半期の個別業績 (令和6年1月1日～令和6年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和6年12月期第3四半期	215,732	10.0	14,110	7.9	14,168	7.7	11,462	31.6
令和5年12月期第3四半期	196,075	8.7	13,074	44.3	13,152	40.1	8,712	34.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭		円 銭				
令和6年12月期第3四半期		173.83		—				
令和5年12月期第3四半期		132.12		—				

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和6年12月期第3四半期	259,723	168,981	65.1
令和5年12月期	244,786	160,672	65.6

(参考) 自己資本 令和6年12月期第3四半期 168,981百万円 令和5年12月期 160,672百万円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の経営成績

	金額（百万円）	前年同四半期増減率（％）
売上高	216,383	10.1
営業利益	14,268	8.4
経常利益	14,330	8.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,602	32.3

当第3四半期連結累計期間（令和6年1月1日～令和6年9月30日）における日本経済は、半導体需要や自動車生産の持ち直し、価格転嫁の進展等に支えられ、小幅ながら景況感の改善が続きました。先行きについても、海外景気の減速、円高の進展に伴う輸出企業の業績悪化等の不安材料があるものの、人手不足に伴う省力化投資への需要増加も下支えとなり、引き続き景況感の改善が見込まれます。

このような環境下で当社及び連結子会社は、いつの時代もお客様や社会から必要とされる企業を目指し、「がんばれ！！日本のモノづくり」の企業メッセージのもと、「業界『最速』『最短』『最良』の納品を実現できる企業になりたい。」等、11項目の「ありたい姿」（能力目標）実現のための取組みを継続しました。このような取組みを通じてお客様にとって最高の利便性を提供することが、結果として環境負荷軽減などの社会貢献につながると考えています。

サプライチェーン全体の最適化・合理化を図る主な取組みとして、「ニアワセ+ユーチョク」（荷物詰合わせ+ユーザー様直送）の利用促進を更に強化しました。当社は在庫を多数保有しているだけでなく、最先端の物流機器とデジタルを組み合わせることで、複数の商品を1つの梱包に「ニアワセ」（荷物詰合わせ）し、卸売である当社よりユーザー様へ直送することが可能となります。このサービスにより、納品リードタイムの短縮に加え、得意先様の配送業務や送料を削減できます。また、配送や梱包資材にかかる二酸化炭素排出量などの環境負荷を軽減することができ、環境保全につながる取組みとしてネット通販企業様を中心に高い評価を得ています。

加えて、究極の即納を実現する置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」の拡大、在庫アイテム数や商品データ保有数の拡充、AI見積「即答名人」[見積自動化システム]の利用推進、欠品・欠量を防ぐための在庫最適化、プライベート・ブランド商品のブラッシュアップ、修理工房「直治郎」の取組み強化を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,163億83百万円（前年同期比10.1%増）となりました。一方、急速に進んだ物価の高騰が和らぎ、前期に比べ価格改定前に仕入れた在庫商品を改定価格で販売した影響が弱まったことで、売上総利益率は20.8%（前年同期は21.2%）と減少しました。また、出荷量の増加に伴い、運賃及び荷造費並びに給料及び賞与を中心に増加したことにより、販売費及び一般管理費は306億57百万円（前年同期比7.8%増）となった結果、営業利益は142億68百万円（前年同期比8.4%増）、経常利益は143億30百万円（前年同期比8.4%増）となりました。大阪本社の移転に伴い、旧大阪本社ビルの土地、建物等を売却したことにより特別利益として26億67百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は116億2百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

②セグメント別売上高の状況

	当第3四半期連結累計期間 自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日		前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファクトリールート	144,842	66.9	8.2
e ビジネスルート	49,663	23.0	15.0
ホームセンタールート	19,629	9.1	11.4
海外ルート	2,247	1.0	19.4
合計	216,383	100.0	10.1

1) ファクトリールート (製造業、建設関連業等向け卸売)

ファクトリールートにおいては、全国に28か所ある物流センター及び全国に29か所ある在庫保有支店が、市場のニーズに即した在庫拡充を進め、受注頻度に合わせて在庫量を適切に管理することで得意先様の利便性向上に努めました。また、ユーザー様の工場に、置き薬ならぬ置き工具「MROストッカー」を設置することで、工場内ですべて商品の調達が可能となるサービスの拡大や、サプライチェーン全体の物流コストや手間を大幅に削減できる「ユーザー様直送サービス」を強化するなど、環境負荷の軽減にもつながる営業活動を行いました。これらの活動により、得意先様の課題を迅速に解決することで、主に生産工場の稼働に係るハンドツール、オフィス住設用品、また猛暑により夏物商材を含む環境安全用品などの売上高が増加しました。

その結果、売上高は1,448億42百万円(前年同期比8.2%増)、経常利益は99億5百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

2) e ビジネスルート (ネット通販企業等向け販売)

e ビジネスルートにおいては、3,608社の仕入先様との協業を基軸に、約474万アイテムに及ぶ商品データベース及び仕入先様の在庫データと得意先様のシステムとの連携を加速させました。また、納期短縮・納期精度向上を主軸とし、4か所の物流センターに6ライン導入しているI-Pack® (アイパック) [高速自動梱包出荷ライン] を活用した「ユーザー様直送サービス」を強化しました。これらの取組みにより、e ビジネスに必要な高品質のサービスを提供することで、お客様の利便性が向上し、売上高の増加につながりました。また、商品分類別では、主に生産工場の稼働に係る環境安全用品、オフィス住設用品及びハンドツールなどの売上高が増加しました。

その結果、売上高は496億63百万円(前年同期比15.0%増)、経常利益は41億51百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

3) ホームセンタールート (ホームセンター、プロショップ等向け販売)

ホームセンタールートにおいては、建築現場などで働くユーザー様をターゲットとしたプロショップなど、各得意先様に対し売場提案や商流集約に向けた営業活動を強化しました。また、ホームセンター各社がEC事業を強化していることから、当社の約61万アイテムに及ぶ在庫と物流設備を活用したサービスを積極的に提案しました。これらの取組みにより、得意先様のリアルとネットを融合したビジネスへの需要に応えることができ、作業用品や環境安全用品などの受注が増え、売上高増加に寄与しました。

その結果、売上高は196億29百万円(前年同期比11.4%増)、経常利益は1億25百万円(前年同期比56.1%減)となりました。

4) 海外ルート（連結子会社業績、諸外国向け販売）

海外ルートにおいては、連結子会社である TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION(THAILAND)LIMITED 及びPT. TRUSCO NAKAYAMA INDONESIAの業績と海外部の諸外国向け販売を含めています。連結子会社では、現地の市場ニーズに即した在庫を積極投入するなど、在庫を保有するメリットを活かした営業活動を行いました。また、現地得意先様及び仕入先様の開拓を進めることで販売活動を強化しました。さらに、海外部の諸外国向け販売では、新規得意先様開拓と既存の得意先様との協業強化を中心に行い、取引を拡大しました。

その結果、売上高は22億47百万円(前年同期比19.4%増)、経常利益は1億94百万円(前年同期比74.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べ152億48百万円増加の2,601億26百万円（前連結会計年度末比6.2%増）となりました。その主な要因は、商品が43億34百万円増加、建設仮勘定が109億3百万円増加、現金及び預金が2億42百万円減少、売掛金が3億48百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ66億26百万円増加の907億89百万円（前連結会計年度末比7.9%増）となりました。その主な要因は、買掛金が1億37百万円増加、未払金が10億28百万円増加、長期借入金が135億円増加、1年内返済予定の長期借入金が70億円減少、未払法人税等が17億83百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ86億21百万円増加の1,693億37百万円（前連結会計年度末比5.4%増）となりました。その主な要因は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益116億2百万円の計上により増加し、配当金32億64百万円の支払により減少したことによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末の65.6%から65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和6年8月9日発表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,283	43,040
売掛金	34,322	33,973
電子記録債権	2,821	1,999
商品	50,848	55,182
その他	734	1,451
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	132,008	135,646
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	45,989	45,660
機械及び装置(純額)	6,535	5,995
工具、器具及び備品(純額)	1,267	1,297
土地	38,747	39,389
建設仮勘定	10,149	21,052
その他(純額)	1,880	1,868
有形固定資産合計	104,569	115,264
無形固定資産		
ソフトウェア	2,610	3,107
その他	1,961	2,240
無形固定資産合計	4,572	5,347
投資その他の資産		
投資有価証券	2,529	2,506
繰延税金資産	673	793
再評価に係る繰延税金資産	155	155
その他	504	544
貸倒引当金	△135	△132
投資その他の資産合計	3,728	3,867
固定資産合計	112,870	124,480
資産合計	244,878	260,126

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,461	20,598
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	8,500	1,500
未払金	3,544	4,573
未払法人税等	4,248	2,464
賞与引当金	687	1,417
役員賞与引当金	-	99
その他	2,293	2,306
流動負債合計	49,735	42,959
固定負債		
長期借入金	31,500	45,000
役員退職慰労引当金	151	151
長期預り保証金	2,773	2,675
その他	1	2
固定負債合計	34,426	47,829
負債合計	84,162	90,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	150,298	158,636
自己株式	△82	△83
株主資本合計	159,950	168,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633	744
土地再評価差額金	△353	△353
為替換算調整勘定	486	658
その他の包括利益累計額合計	765	1,050
純資産合計	160,716	169,337
負債純資産合計	244,878	260,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	196,583	216,383
売上原価	154,976	171,457
売上総利益	41,607	44,926
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	6,065	6,666
役員報酬	222	237
給料及び賞与	9,048	9,696
賞与引当金繰入額	964	1,409
福利厚生費	1,800	1,995
減価償却費	4,720	4,443
支払手数料	1,905	2,185
その他	3,717	4,021
販売費及び一般管理費合計	28,445	30,657
営業利益	13,162	14,268
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	46	48
不動産賃貸料	131	131
その他	133	172
営業外収益合計	317	358
営業外費用		
支払利息	59	164
賃貸収入原価	35	80
貸倒引当金繰入額	128	-
その他	40	51
営業外費用合計	264	296
経常利益	13,215	14,330
特別利益		
固定資産売却益	-	2,667
特別利益合計	-	2,667
特別損失		
減損損失	45	-
投資有価証券評価損	316	183
土壤汚染処理費用	51	-
特別損失合計	413	183
税金等調整前四半期純利益	12,802	16,815
法人税、住民税及び事業税	4,411	5,381
法人税等調整額	△377	△168
法人税等合計	4,034	5,212
四半期純利益	8,768	11,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,768	11,602

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
四半期純利益	8,768	11,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	111
為替換算調整勘定	466	172
その他の包括利益合計	588	284
四半期包括利益	9,356	11,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,356	11,886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	海外 ルート	計		
売上高							
作業用品	24,673	6,217	6,592	231	37,715		37,715
環境安全用品	23,833	8,721	2,993	103	35,651		35,651
ハンドツール	21,387	7,461	3,734	352	32,936		32,936
工事用品	15,704	5,609	1,355	132	22,801		22,801
物流保管用品	15,316	4,232	895	89	20,534		20,534
オフィス住設用品	11,374	4,846	648	78	16,948		16,948
生産加工用品	10,503	3,320	364	215	14,403		14,403
研究管理用品	5,612	2,126	68	116	7,923		7,923
切削工具	5,208	502	359	48	6,119		6,119
その他	256	165	613	513	1,549		1,549
顧客との契約から 生じる収益	133,871	43,204	17,626	1,881	196,583		196,583
外部顧客への 売上高	133,871	43,204	17,626	1,881	196,583	—	196,583
セグメント利益又は 損失(△)(注)1	9,675	3,130	286	111	13,204	11	13,215

(注)1 「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益又は損失を表示しています。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額11百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益又は損失が含まれています。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の経常利益又は損失と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間（自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファクトリー ルート	eビジネス ルート	ホームセンター ルート	海外 ルート	計		
売上高							
作業用品	25,588	6,875	7,387	242	40,093		40,093
環境安全用品	27,465	10,636	3,771	124	41,998		41,998
ハンドツール	23,350	8,323	4,073	425	36,172		36,172
工事用品	16,823	6,454	1,464	165	24,907		24,907
物流保管用品	15,875	4,436	878	108	21,299		21,299
オフィス住設用品	12,692	5,756	694	103	19,247		19,247
生産加工用品	11,332	4,082	413	256	16,085		16,085
研究管理用品	5,814	2,349	93	112	8,369		8,369
切削工具	5,577	534	387	55	6,555		6,555
その他	322	214	464	653	1,654		1,654
顧客との契約から 生じる収益	144,842	49,663	19,629	2,247	216,383		216,383
外部顧客への 売上高	144,842	49,663	19,629	2,247	216,383	—	216,383
セグメント利益又は 損失(△)(注) 1	9,905	4,151	125	194	14,377	△46	14,330

(注) 1 「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益又は損失を表示しています。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△46百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益又は損失が含まれています。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の経常利益又は損失と調整を行っています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
減価償却費	4,737百万円	4,476百万円